

再評価結果（平成16年度 事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道 247号中央バイパス ^{ちゅうおう}		事業区分	一般国道	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県蒲 ^{がまごおり} 郡 ^{たけや} 市竹谷町 至：愛知県蒲 ^{がまごおり} 郡 ^{みや} 市三谷町			延長	5.7 km	
事業概要	一般国道247号は、愛知県名古屋市を起点として、常滑市、蒲郡市を経て豊橋市に至る主要幹線道路である。中央バイパスは蒲郡市中心部における慢性的な交通渋滞の緩和を図り、主要な観光施設へのアクセスを確保する延長約5.6kmの4車線道路である。					
昭和63年度事業化	S36年度都市計画決定 (S63年度変更)	平成元年	用地着手	平成4年	工事着手	
全体事業費	約148億円	事業進捗率	51%	供用済延長	1.7 km	
計画交通量	29,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)4.0 (残事業)11.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 46/130億円 (事業費：37/121億円) 維持管理費：9/9億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 513/513億円 (走行時間短縮便益：509/509億円) 走行費用減少便益：2/2億円 交通事故減少便益：2/2億円	基準年	平成15年	
事業の効果等	・個性ある地域の形成（ラグーナ蒲郡へのアクセス性の向上が見込まれる） ・災害への備え（緊急輸送道路としての位置づけあり） 他8項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見	当路線は、蒲郡市の中心市街地外周部を東西に結ぶ主要幹線道路で蒲郡中心部の交通緩和と東名高速道路や国道23号蒲郡バイパスの広域道路のアクセスを目的として、蒲郡市より早期整備促進を毎年要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成14年4月のラグーナ蒲郡のオープンにより周辺道路の交通混雑が夏期をピークに深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	大規模工事のため事業期間も長期化したが、現在までに1.7kmを供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	重点整備区間については平成16年度に供用し、その後全線供用に向け事業を進めていく。					
施設の構造や工法の変更等	既製品や再生資源の活用などによりコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性が増大していると考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。